

令和2年度 事業報告

I 事業概要

令和2年度は新型コロナウイルスに翻弄された1年でありました。

新型コロナウイルス感染症は世界中に蔓延して、グローバル社会を停止させ、経済の縮小、暮らしや働き方を大きく変化させました。

国内においても、オリンピック・パラリンピックの開催延期、事業者への休業、時短要請など苦渋の決断がなされました。

このような状況の中、4月と翌年1月には、京都府内に「緊急事態宣言」が発令され、当センター事業も中止や延期、また規模を縮小して実施するなど、大きく影響を受けることとなり、その都度、この対応に苦慮した1年となりました。

しかしながら、事業の担い手となる会員数は、在籍会員による会員紹介並びにセンターによる会員拡大対策の効果により、目標数440名に達することができました。

特に女性会員の割合と粗入会率（60歳以上の人口に対する会員数の割合）は、全国及び府内においてもトップクラスとなっています。これも、会員皆様のご理解・ご協力の賜物であり、深謝申し上げます。

事業実績におきましては、新型コロナウイルスの影響を受けた職種（受注）もある中、受託事業（請負・委任）は1億9,259万円余り、派遣事業は3,337万円余り、両事業併せ2億2,596万円余りとなり、目標額には届きませんでした。対前年度比99万円余り、0.4%の微増となりました。

これは13年間連続で前年度を上回るものであります。この結果により、最終業績は黒字となり、適正な運営を果たすことができました。

安全就業においては、「無事故」を目指しておりましたが、昨年度を3件上回る6件の事故が発生しました。今後は「無事故」を目指す取組みを、一層徹底してまいります。

事業概要の報告は以上のとおりです。

新型コロナウイルスのワクチン実用化により、トンネルの先に光が見え始めたのも事実ではありますが、ワクチンの普及までにはまだまだ時間がかかることを考えると、しばらくの間、経済活動と感染拡大抑制のバランスを考慮して進んでいかざるを得ないものと思われれます。

今後においても、様々な制約が残り続ける中、この危機を乗り越えるために、オールシルバー一丸となって頑張っていく所存です。

会員各位のなご協力の一層の程、よろしくお願い申し上げます。

II 事業結果

項目	目標数値	令和2年度実績	昨年度(令和元年度)実績	前年比
正会員数	440名	440名	421名	<u>19名増</u>
安全就業	無事故	傷害事故2件 賠償事故2件 車両事故2件	傷害事故1件 賠償事故0件 車両事故2件	事故計3件増
受託事業(請負・委任)				
①受託件数	—	2,330件	2,467件	137件減
②受託契約金額	203,000千円	192,596千円	196,807千円	4,211千円減
就業実人員	—	328人	338人	10人減
③就業延実人員	—	45,289人日	46,950人日	1,661人日減
派遣事業				
④派遣件数	—	216件	219件	3件減
⑤派遣契約金額	33,000千円	33,379千円	28,178千円	<u>5,201千円増</u>
就業実人員	—	49人	43人	<u>6人増</u>
⑥就業延実人員	—	5,886人日	5,447人日	<u>439人日増</u>
件数合計 (①+④)	—	2,546件	2,686件	140件減
契約額合計 (②+⑤)	236,000千円	225,975千円	224,985千円	<u>990千円増</u>
就業延人員合計 (③+⑥)	52,600人日	51,175人日	52,397人日	1,222人日減

III 事業実施結果

1 会員の拡大をめざして

本年度正会員登録目標数「440名」の達成を目指して、会員・役職員が一丸となって取り組みました。

主な活動内容は次のとおりです。

(1) シルバー立看板(50か所)等の活用及び新規設置

- ・当センターの宣伝の場として主に会員獲得を目的にPR活動に努めた。

- また、より効果のある場所への移設や看板の修繕を行った。
- ・認知度及び注目度をより高める取組みとして、「クイズラリー」を実施した。
(活動期間：8/15 ～ 9/30、住民参加数：50名)
- ・当センター理事所有地（佐山双置 府道沿い）2ヶ所に新たに看板を設置した。

(2) 会員による勧誘活動

「会員紹介に対する協力者への活動費の支給」を実施。
結果、会員の紹介により 21 名の方が入会された。

(3) 退会者の抑制を図る取組み

働く意欲はあるが、本人の病気や家族等の介護を理由に、働けない会員から、「会費免除願い」が提出され、当該年度の会費免除を理事会において承認した。
本年度の会費免除者：13名

(4) その他の活動

- ・会員へ「バースデーカード」の送付。ハガキを持って来所された会員にはプレゼントを贈呈した。
- ・2021年版（令和3年）カレンダーを作製し事務所にて配布した。
- ・センター事務所外壁に、四季に合わせた「会員募集宣伝幕」を取付けPRした。
- ・町広報紙（1日号）への有料広告の掲載を実施（4月～3月）
- ・会員募集チラシ全戸配布の実施（山城広域SC版：3月）

【参考：入会者の経路】

入会経路の理由	男	女	合計
会員による紹介	11名	10名	21名
センターの広報資料（立て看板・チラシ等）	11名	4名	15名
公共機関を通じて	3名	2名	5名
その他（発注者等からの紹介）	1名	2名	3名
合計	26名	18名	44名

2 事業の拡大をめざして

本年度契約金額目標額「236,000千円」（内訳：請負・委任 203,000千円、派遣 33,000千円）の達成を目指して取り組みました。

しかし、新型コロナウイルスの影響を受けて、目標額を達成することができませんでしたが、このような状況でも、柔軟に対応することを心掛け、その結果として昨年度の実績を上回ることができました。

主な活動内容は次のとおりです。

(1) 既存先と更なる信頼関係を目指して

- ・事業開拓部会員及び事務局により既存先へ訪問を実施した。
(訪問件数：長期契約先 50社)
- ・迷惑をかけないように、会員の就業体制等を考慮して対応した。
- ・会員の事由により急な就業辞退の申し出に対しては、迅速な対応を心掛けた。

(2) 新規依頼の対応及び営業活動

新規の依頼に対し、商機を逃さないよう積極的に対応した。しかし、新型コロナ禍、営業活動は控えることとなった。

(3) 適正なシルバー派遣事業の対応

労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第26条第7項に基づき、比較対象労働者の待遇等に関する情報提供を基に契約した。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応

令和2年4月16日と令和3年1月13日、京都府に「緊急事態宣言」が発令される等、先が見えない状況に大きな不安を感じて過ごした1年となった。

発注者からの休業要請や、対策期間中は会員へ仕事の提供を行わない等、過去に例のない様々な課題への対応に苦慮してまいりましたが、会員のご理解とご協力のおかげで、シルバー関係者からの感染者はなく、日々、就業することができた。

しかしながら、請負・委任事業では、民間企業で1千万円、一般家庭では3百万円、合計約1千3百万円も予定していた契約金額より減額と影響を受けたが、最小限に留まったと判断している。

このような状況下ではあるが、事業の拡大をめざして、「どのように対応して」、「どのような取組みができるか」を検討する。

次年度も会員・役職員が一丸となって取り組んでいく所存です。

本年度の受託並びに派遣事業実績は次のとおりです。

【請負・委任事業実績】

区 別	項 目	本年度(R2)	規 模	前年度(R1)	規 模	前 年 比
公 共	受託件数(件)	402	17.25%	362	14.67%	40 増
	契約金額(円)	28,943,450	15.03%	26,618,284	13.53%	2,325,166 増
民間企業	受託件数(件)	1,381	59.27%	1,465	59.38%	84 減
	契約金額(円)	154,832,366	80.39%	158,687,598	80.63%	3,855,232 減
一般家庭	受託件数(件)	485	20.82%	591	23.96%	106 減
	契約金額(円)	8,760,795	4.55%	11,439,526	5.81%	2,678,731 減
ワンコイン	受託件数(件)	62	2.66%	49	1.99%	13 増
	契約金額(円)	59,500	0.03%	61,500	0.03%	2,000 減
合 計	受託件数(件)	2,330		2,467		137 減
	契約金額(円)	192,596,111		196,806,908		4,210,797 減

【派遣事業実績】

区 別	項 目	本年度(R2)	規 模	前年度(R1)	規 模	前 年 比
公 共	派遣件数(件)	30	13.89%	21	9.59%	9 増
	契約金額(円)	4,480,603	13.42%	4,095,845	14.54%	384,758 増
民間企業	派遣件数(件)	186	86.11%	198	90.41%	12 減
	契約金額(円)	28,899,093	86.58%	24,082,819	85.46%	4,816,274 増
合 計	派遣件数(件)	216		219		3 減
	契約金額(円)	33,379,696		28,178,664		5,201,032 増

3 会員の就業機会の適正化をめざして

(1) 会員へのキメ細やかな対応

- ・「会員相談会」(主に仕事相談)を検討したが、新型コロナ禍の影響により、実施に至っていない。次年度へ繰り越す。
- ・発注者からの依頼に対し、速やかに現場確認を行い、就業条件に適した会員を紹介できるよう努めた。また、発注者の意向に寄り添い、就業に適さない会員への対応を慎重に行った。
- ・就業を希望する会員へは、あらゆる手段を用いて仕事の提供を行った。
- ・新入会員へは、直ちに仕事の提供を行った。
- ・未就業会員への対応は、仕事ができない理由の把握に努め、定期的に連絡を行う

等、優先的に仕事の提供を行った。

- ・センター事務所内の掲示板に、常時「お仕事の紹介」を掲示して、就業機会の提供に努めた。

【事業別会員別就業実人員数及び未就業会員数】

区 別	会 員 数	就業実人員数 (受 託)	就業実人員数 (派 遣)	就業実人員数 (全 体)	未就業会員数
男	254 人	189 人	35 人	205 人	49 名
女	186 人	139 人	14 人	147 人	39 名
合 計	440 人	328 人	49 人	352 人	88 名
割 合	—	74.5 %	11.1 %	80.0 %	20.0 %

(2) 会員のスキルアップを目指した講習会の開催

【講習会等の開催】

講 習 会 等 名	開 催 日	受 講 者 数
ガンバルーン体操指導士養成講習会 (八幡市SCへ主催)	8月22、23日	受講者1名(延べ2日)
パッカー車メンテナンス講習会 (久御山町SC 単独)	8月26日、10月1日	受講者延べ10名 (植木剪定班・除草班)
植木剪定講習会 (久御山町SC主催、八幡市SC 合同)	3月18日	久御山町：受講者6名 八幡市：受講者5名

4 職域班の充実をめざして

(1) 職域班の更なる円滑な運営体制づくり

単体班の内「植木剪定班」、「除草班」、「イオン班」の3班は、各班長を中心に、班編成要領を作成した。(9月より実施)

他の班については、次年度に繰り越す。

(2) 複合班から単体班へ

センターの就業は、会員の「自主・自立、共働・共助」を基本としており、より安全な作業遂行と事業効果を高めるため、事業区分に応じて職域班を設置している。

本年度は、軽作業班から1つのグループが複合班から単体班となった。

年度末時点の職域班の構成及び会員の登録状況は次のとおり。

【単体班 (設置数9)】

班番号	職域班名	主な作業内容	登録者数 (名)
1	植木剪定 班	植木の作業に係ること全て	9
2	除草 班	除草の作業に係ること全て	8
3	はりはり工房 班	建具の張替え 等	3
4	公共清掃 班	公共施設(屋外清掃等)	6
5	イオン 班	カート等の整理・回収	23
6	ヤマト 班	メール便の仕分け	16
7	ゆうホール 班	施設の清掃	13
8	荒見苑・中央公園 班	施設の清掃	7
(新設) 9	平和堂 (間口) 班	クレーン整理作業	14

【複合班（設置数 8）】

班番号	職域班名	設置グループ数（件）	登録者数（名）
10	自動車運転 班	①公共 1、①企業 5	計 16
11	技能・技術 班	①企業 4、	計 4
12	事務・管理 班	①企業 17、①公共 8、①企業 3、 ①公共 2	計 69
13	清掃 班	①企業 49、①公共 3	計 100
14	軽作業 班	①企業 15、①家庭 1、①公共 3、 ①企業 7	計 91
15	内職 班	①企業 4	計 27
16	家事援助 班	①家庭 4	計 44
17	ボランティア 班	就業を希望しない	—

※①は「請負」、①は「派遣」

(3) 職域班の体制づくり

各単体班は、自主的に「班会議」を開催され、現状と課題を確認し合う等、班員間の意思疎通が図られ、より良い仕事ができるよう班体制の強化を進めた。

【職域班会議の開催】

職 域 班 名	開 催 日
植木剪定班・除草班	7/3、9/29（合同開催）
植木剪定班	8/20、8/31、9/23、11/11、12/2、3/3
除草班	8/7、9/4、10/2、11/6、12/4、1/8、3/5
公共清掃班	3/30
イオン班	3/17、3/18
ヤマト班	3/17

5 会員間及び地域におけるネットワーク形成をめざして

(1) 会員間の活動

開 催 日 等	内 容 等
4月1日(水)	地域班班長会議（委嘱状の交付等） ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い会議を中止し、文書等発送の上対応した。
9月1日(火)	機関紙「働楽」NO.32の発行
9月4日(金)	第1回「なんでもサロン」12:00～16:00 参加者：10名
10月2日(金)	第2回「なんでもサロン」12:00～16:00 参加者：21名
10月27日(火)	地域班活動「ボランティア活動」美化及び普及啓発活動 参加者：48名、活動場所：田井・林交番、クロスアukumiyama周辺
11月6日(金)	第3回「なんでもサロン」12:00～16:00 参加者：14名
12月9日(水)	日帰り親睦旅行（米原・彦根方面）参加者：53名
1月15日(金)	「なんでもサロン」13:00～16:00 中止 ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い中止した。
2月15日(月)	「なんでもサロン」13:00～16:00 中止 ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い中止した。
3月15日(月)	第4回「なんでもサロン」13:00～16:00 参加者：21名 内容：①将棋の対局 ②クラフト手芸 ③ガンバルーン体操

(2) 地域に対してのPR活動

開催日等	内容等
5月17日(日)	福祉まつりに出店（コーヒーの販売及び普及啓発活動） ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い中止された。
9月3日(木)	「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」センター事務所垂れ幕の設置 【大切な人・久御山町を守るため 打倒!! 新型コロナ】
10月(1ヶ月間)	ワンコインサービス無料月間（60歳以上の世帯・1回のみ利用） 利用実績：18件
10月	「シルバー講演会」（高齢者活躍人材確保育成事業） ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い中止した。
1月31日(日)	くみやまマラソンに出店（コーヒーの販売及び普及啓発活動） ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い中止された。

(3) 他シルバー人材センターの連携

主催	内容等
山城拠点シルバー人材センター 連絡会	事務局職員会議の開催（計5回） 日：11月11日(水)、12月16日(水)、1月19日(火)、 2月10日(水)、3月4日(木) 会場：各拠点センター持回りにより開催
木津川市シルバー人材センター	「中南部拠点シルバー人材センター 事務局職員交流会」 日：1月22日(金) ※ 新型コロナウイルス感染症関係に伴い中止された。

(4) 久御山町及び関係団体との連携

開催日等	内容等
4月3日(金)	第25回 ふれあい福祉まつり 参画団体調整会議 出席者：総務課係長
6月26日(金)	久御山町生活困窮者の支援会議 出席者：事業課長、事業課係長
8月31日(火)	久御山町長 初登庁式 出席者：理事長、事務局長、事業課長
10月13日(火)	京都府へ要望活動 出席者：理事長、事務局長
11月17日(火)	久御山町へ要望活動 出席者：理事長、副理事長、事務局長、事業課長
11月17日(火)	支援のお願い（町要望書写しの提出）久御山町議会 出席者：理事長、副理事長、事務局長、事業課長
1月4日(月)	年始挨拶まわり（久御山町及び関係団体） 出席者：理事長、事務局長、事業課長、事業課係長

6 組織運営の改善と収支バランスの継続をめざして

(1) 定時総会について

本来、法人組織の最高決議機関である総会で、会員一人ひとりが法人の構成員であることを周知徹底し、当日の出席者の増員並びに委任状・書面評決を含めた出席率の向上を目指して開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、会員皆様の出席を控えて頂く旨の書面を招集通知と一緒に送付することとなった。

また、同様に来賓方々の出席もご遠慮いただいた。

このような状況の中、6月10日(水)に開催された定時総会は、構成員総数410名の内、出席者は会員2名(役員12名)、委任状提出者323名、書面評決提出者1名、出席者合計326名(役員含まない)で、出席率は79.5%という結果であった。

(2) 収支の状況

収支バランスについて、新型コロナウイルスの影響を受けて、契約金額は目標値を下回ることとなったが、支出においては、必要最小限の事業遂行に応じ、適切に対応した結果、収益増となり、将来必要となる資金の準備を着実にいった。

IV 安全就業をめざして

“安全は、就業の全てに優先する”を合言葉に、無事故を目指し取り組みましたが、残念ながら事故が発生しました。

安全推進部会の主な活動内容は次のとおりです。

(1) 安全就業推進のための取組み

- ・安全就業大会の開催(10月24日(土)開催:出席者62名)
内容「3楽体操・脳活」実技
講師(公社)八幡市シルバー人材センター 会員6名
- ・(公社)京都府シルバー人材センター連合会主催
「安全・適正就業推進大会」への参加(10月21日(水)、理事長、事務局長他)
- ・令和2年度安全・適正就業に関する標語の取組み
会員より11作品の応募があり内2作品を推薦した。
「さあ行こう 喜び勇んで行く前に キッチリやろう安全運転」(U氏)
「オッと危ない!安全確認してますか?」(T氏)

(2) 安全対策の取組み

8月から11月の間、部会員及び事務局担当者が「安全就業パトロール」を実施した。

- ・8月:20日・9月:3日、11日、14日、29日・10月:15日、30日
- ・11月:6日、12日、25日、30日(合計11回・23ヶ所実施)

各現場とも、安全就業に対する意識はみられたが、不安全な状態での作業や、一瞬の気の緩みで、大事故に繋がる恐れのある現場もあったので、その都度、就業会員には安全に作業するよう促した。

(3) 安全就業の徹底

- ・安全就業の徹底を図るため、職域班間(就業会員間)及び職域班と事務局間での「報告・連絡・相談」を徹底するよう心掛けた。
- ・単体班の内「植木剪定班」、「除草班」、「イオン班」の3班は、各班長を中心に、作業別安全就業基準を作成した。(9月より実施)

(4) 就業時の「安全チェック」の継続

就業者全員に、就業前の「体調確認」(自己診断)及び、就業中等の「ヒヤリ・ハット」を記載する「安全就業チェック表」の提出を義務付け、日常の安全管理に努めた。

(5) 安全保護具等の整備

- ・度重なる架装部分の修理や故障に伴い、新車2t塵芥車を更新した。(8月)
- ・安全かつ作業に見合ったヘルメットを更新した。(植木剪定班)
- ・全公用車にドライブレコーダーを設置した。
- ・作業機械等の不具合や故障に対し、可能な限り迅速に対応した。

(6) 本年度（シルバー保険適用）事故報告

【傷害事故報告】 事故 2 件

発生日	年齢	性別	発生状況		事故発生状況	保険受取金
2月 (R2)	72	男	午前	就業中	荷物出荷時に木箱 3 ヶをトラックに積む際、天井クレーンで方向転換時に、木箱と木箱の間に指を挟む。	・通院補償 26,000 円 ・手術補償 15,000 円 ・後遺障害補償 630,000 円
4月	80	男	午前	就業 途上	自家用車で就業先に向かう途中、交差点内に進入したところ、信号無視して進入してきた車両に衝突された。	180,000 円

【賠償事故報告】 事故 2 件

発生日	年齢	性別	発生状況		事故発生状況	弁償金
7月	81	男	午前	就業中	手押し式草刈り機で作業中、散水栓ボックスに気付かず走らせた時に巻き込み破損させた。	47,300 円
8月	76	男	午前	就業中	手押し式草刈り機で作業中、不完全な状態（前カバー忘れ）で作業したことにより、石を飛ばして障子ガラスを破損させた。	178,152 円

【車両事故報告】 事故 2 件

発生日	年齢	性別	発生状況		事故発生状況	修繕費
8月	69	男	午前	就業中	近道を試みて、道幅狭い道路に進入し、車両のミラーをフェンスに衝突させ破損させた。	43,340 円
3月	69	男	午後	就業中	発注先で車両を駐車する際、縁石に衝突させた。（左後方部）	25,470 円

【参考：過去 5 年間の事故発生状況】

(単位：件)

	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
傷害事故	2	1	0	4	3
賠償事故	2	0	1	4	3
車両事故	2	2	0	5	0
合計	6	3	1	13	6